

2025 年度「渋谷計画 2040-まちづかい戦略-」ワーキンググループによる活動を開始

— 「場づくり」と「場所の使い手」の2つの視点による検討を開始 —

2025年 6 月 4 日

一般社団法人渋谷再開発協会

一般社団法人渋谷再開発協会（以下、渋谷再開発協会）では、2024 年 3 月に渋谷駅周辺地域の 2040 年の姿を描いた長期ビジョン「渋谷計画 2040-まちづかい戦略-」を策定しました。これは、地元商店会・町会、渋谷区、事業者が三位一体となり検討し形にしたものとなります。全体のテーマは、「いつでも誰もが面白いことに、出会い、関わり、挑める まち」として、多様な人々の挑戦が生み出される環境整備を方針として掲げています。

2024 年度からは当該長期ビジョンの具体化を進めるためのワーキンググループによる検討を開始し、2025 年度も引き続き「場づくり」と「場所の使い手」2つのグループにより検討を開始いたしました。

「場づくり」としては、「渋谷の雑居性をいかに生かしていくのか」「ウォーカブルなまちなみをどう作っていくのか」ということをテーマに検討を進めています。一方「場所の使い手」としては「渋谷から多様なカルチャーを生み出す裾野づくり」をテーマにしています。

両ワーキングにて1年間を通じて、重点テーマを実現するためのアクションプランのベース策定を図ってまいります。

~~~~~

### 【参考】一般社団法人渋谷再開発協会 概要

1964 年に前進の「渋谷再開発促進協議会」が設立され、1972 年に現在の名称へ変更、2021 年に一般社団法人化。渋谷駅周辺地域の将来像(ビジョン)を描き、長期的視点による都市再生の促進やまちに訪れる人々の活動のための場づくりを通して、職・住・遊における高い暮らしの質を実現し、サステイナブルな歩いて楽しいまちづくりを推進。現在、約 113 団体・企業が加盟し活動。